

2022年7月27日

マンスリーレポートNo.1 2022年7月号

プラネタリウム 100 周年記念事業

～地上の星空 ドイツに生まれて1世紀～

みなさま、こんにちは。

コスモプラネタリウム渋谷の永田です。

暑い日が続きますが、きっとみなさまは夜空を見上げていることでしょう。

見上げる星空をみんなが見上げているって良いですね。

さて、JPA 郡山大会でお知らせしましたが、ドイツでプラネタリウムが発明されてから100周年を迎えようとしています。

この度、プラネタリウム100周年記念事業実行委員会が立ち上がりました。

そしていよいよスタートしようとしています。

そんな節目に立ち会っている私たち！

この機会に多くの方々にプラネタリウムの素晴らしさを広めていきましょう。

実行委員会の動きをマンスリーレポートとして、おしらせしていきます。

第1号となる2022年7月号は以下の内容です

1. 実行委員会メンバー紹介
2. プラネタリウム100周年記念事業公認企画について
3. そのほか

.....

1. 実行委員会メンバー紹介

実行委員の頼もしいメンバーを紹介させていただきます。

■実行委員会 委員長

明石市立天文科学館・井上毅

■副委員長

コスモプラネタリウム渋谷・永田美絵

■JPA 理事会 担当理事

倉敷科学センター・三島和久

【主催企画】

■展示作成担当

郡山市ふれあい科学館・安藤享平

■こども絵画担当

伊丹市立こども文化科学館 市川美沙

はまぎんこども宇宙科学館 石阪あすみ

■映像検討

大阪市立科学館・西野藍子

熊本市立博物館・野村美月

■公認企画担当

栃木県子ども総合科学館・原秀夫

個人会員・大川拓也

■国際交流担当

かわさき宙と緑の科学館・弘田澄人(IPS との連携、国際企画の実施)

かわさき宙と緑の科学館・田中里佳

山梨県立八ヶ岳少年自然の家／個人会員・井上拓己

伊丹市立こども文化科学館・市川美沙

■広報担当

多摩六都科学館・齋藤正晴

平塚市博物館・塚田健

愛媛県総合科学博物館・鈴木裕司(ホームページ担当)

精一杯もりあげていきますので、どうぞよろしくお願いいたします！

2. プラネタリウム 100 周年記念事業公認企画について

近代的なプラネタリウムは 1923 年ドイツで誕生しました。その後の 1 世紀が経過し、プラネ

タリウムは天文学や科学技術にあわせるように大きく発展してきました。国際的な取り組みとして 2023 年から 2025 年にかけてプラネタリウム 100 周年記念事業を実施することになっています(※)。日本プラネタリウム協議会(JPA)でもプラネタリウム 100 周年記念事業を実施するために、実行委員会を立ち上げました。日本での実施期間は第 0 期(2022 年 6 月～2023 年 5 月)、第 1 期(2023 年 6 月～2024 年 5 月)、第 2 期(2024 年 6 月～2025 年 5 月)です。第 0 期はプレ期間として、プラネタリウム 100 周年の周知につながる活動を行いたいと考えています。

実行委員会では、主催企画と公認企画を設定しました。主催企画は実行委員会が主体となっておこなうもので、展示資料の作成などの取り組みで、すでに開始しています。公認企画は、各所各館で「プラネタリウム 100 周年」の冠をつけて事業を実施できるものです。公認企画は、プラネタリウム業界以外の参加もできる形としていますが、まずは多くの施設や施設連携等により冠事業が実施され、「プラネタリウム 100 周年」が広く周知・浸透することを願っています。詳細要領は以下の通りです。どうぞよろしくお願いいたします。

(※)主催:国際プラネタリウム協会(IPS)、ドイツ語圏プラネタリウム協会、協力:カールツァイス社

公認企画の申請について
(第0期)

2022 年 7 月 15 日作成

将来→ 2022 年*月**日変更

公認企画とするためには、企画の内容その他の必要な情報を実行委員会に申請する必要があります。

◎公認企画の条件

- ・プラネタリウム 100 周年記念事業の趣旨に賛同し、周知に繋がるものであること
- ・プラネタリウムのさらなる発展に寄与するものであること
- ・営利・非営利は問わないが公益性があること
- ・公序良俗に反しないこと、また反社会勢力とのつながりがないこと
- ・2025 年 5 月までに実施される企画であること
- ・原則として、広く一般市民を対象とした企画であること
- ・終了後に簡単な報告書を提出すること(様式は準備中)

◎公認のための手順

- ・「公認企画申請フォーム(Google フォーム)」をご利用の上、申請してください。

<https://forms.gle/4ezMRzuQ2fmJK3MC8>

- ・実行委員会にて申請内容を確認します。
- ・実行委員会より公認企画の承認についての回答を申請者宛にお送りします(2～3 週間を要する場合がありますのでご了承ください)。
- ・申請内容について不明な点がある場合は、さらに詳細な企画書等の提出をお願いすることがあります。
- ・回答がない場合は、その旨をお問い合わせください。
- ・実行委員会での確認の結果、条件に該当しない場合など、公認企画として承認しない場合がありますのでご了承ください。

◎公認企画が承認されると

- ・企画名に「プラネタリウム 100 周年記念事業公認企画」と冠することができます。
- ・プラネタリウム 100 周年記念事業のロゴマークを使用することができます。日本プラネタリウム協議会(JPA)オリジナルのロゴマーク及び使用ガイドラインを現在準備中です。
- ・プラネタリウム 100 周年記念事業のウェブサイトにて公認企画を紹介させていただきます。また、当該企画のウェブサイトリンクを張らせていただきます。

◎ご注意

- ・公認企画について、日本プラネタリウム協議会(JPA)およびプラネタリウム 100 周年記念事業実行委員会がなんら資金的・人的支援を行うものではありません。
- ・実施が確定した企画について、主催者・実施者より申請を行ってください。
- ・承認後、内容(企画名称、開催場所・日程等)に変更があった場合は、すみやかに変更内容をご連絡ください。

公認企画申請フォーム

公認企画申請の前に、基本情報(公認企画の条件、公認のための手順、ご注意等)をよくお読みください。なお、企画終了後、簡単な報告書(参加人数、写真、メディア記録等)を提出いただく必要があります(報告書の様式は準備中です)。

- ・*印のついた項目は、必ず入力してください。
- ・ひとつの企画につき 1 回の申請をお願いします。同一企画で開催が複数回にわたる場合は、「その他連絡など」の欄に個々の開催日をご記入ください。

(1)申請者についての情報(回答の送信先になります)

- ・メールアドレス*
 - ・申請者の氏名*
 - ・申請者の所属(あれば)
 - ・申請者の連絡先電話番号*
- (2)企画主催者についての情報
- ・主催者名*
 - ・主催者についての説明*
 - ・担当者氏名*
 - ・担当者連絡先メールアドレス*
 - ・担当者連絡先電話*
 - ・後援者名(あれば)
- (3)企画内容についての情報
- ・企画名称*
 - ・目的や内容の説明*
 - ・開始日(年月日)
 - ・終了日(年月日)
 - ・開催会場名
 - ・会場所在地(住所)
 - ・一般向け問合せ先(電話・メールアドレスなど)*
 - ・詳細情報 URL(あれば)
- (4)その他連絡など

【例】申請された情報の解禁に制限がある場合(公開期日が指定されている場合)など

・申請が正しく行われると、申請者のメールアドレスに申請内容のコピーが届きます。コピーが届かない場合は、入力したメールアドレスが正しいかどうかをご確認ください。

3. そのほか

ホームページとロゴマークは8月のマンスリーレポートでお知らせします。

ロゴマークについては、当初は国際ロゴの利用を想定していましたが、日本企画か国際的の企画なのか判別ができないことや国際ロゴの利用範囲を日本側で決めることが難しいことなどの理由で日本オリジナルロゴを作成することとしました。

どうぞよろしくお願いいたします。

コスモプラネタリウム渋谷
永田美絵